

3 商業に関する学科

(1) 商業に関する学科の概要

ア 商業教育のねらい

ビジネスの理解力・実践力、豊かな人間性、経済社会の発展を図る能力・態度の習得を通して、知識基盤社会を生き抜く、地域産業を担う人材や将来のスペシャリストなど、人間性豊かな職業人を育てます。

イ 商業に関する設置学科

公立学校には、次の表のとおり商業に関する学科が設置されています。

地区	小学科名 学校名	全 日 制								定時制		特別支援		
		総合ビジネス	グローバルビジネス	地域ビジネス	会計ビジネス	ITビジネス	総合情報	未来ビジネス	オフィスビジネス	キャリアアビジネス	総合ビジネス	商業	高等部 商業	専攻科 情報ビジネス
名古屋	愛知商業		120		80	80								
	中川青和								240					
	市立名古屋商業		40			80		160						
	市立若宮商業							160						
	市立中央										40			
尾張	瀬戸工科									40				
	春日井泉			120		80								
	犬山	40												
	古知野			80		80								
	木曾川	80												
	一宮商業			160		80								
	津島北			80		40								
知多	半田商業			160		80				40				
	東海樟風						240							
西三河	岡崎商業		160		80	80								
	碧南	80												
東三河	豊橋商業		80		80	80								
	成章	40												
	国府	40												
	市立豊橋									40				
	名古屋豊												約8	
	港特支											約8		

- (注) 1 表の数字は、令和6年度の募集人員を示します。
 2 複数の学科を設置する学校は、第1学年は一括募集であり、第2学年進級時に各学科に分かれます。
 3 令和4年度から東海商業高校は東海樟風高校、令和5年度から中川商業高校は中川青和高校、春日井商業高校は春日井泉高校に校名変更しています。

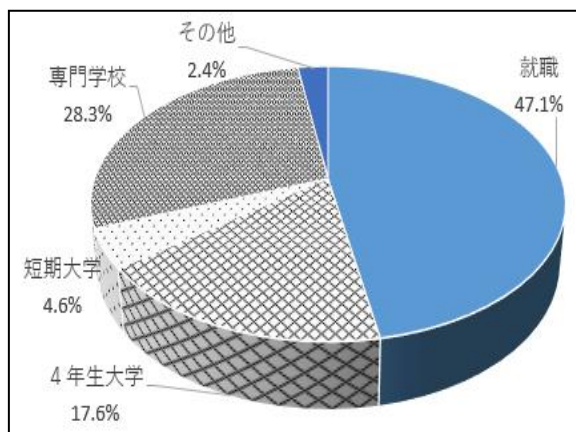
ウ 卒業後の進路（県立・全日制）

(ア) 進路状況について（令和5年3月卒業生）

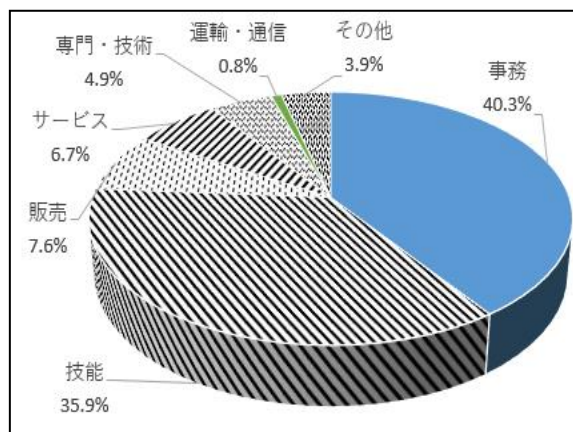
卒業後の進路は、約47.1%が就職、約50.5%が進学です。卒業生は、商業で学んだ知識や技術を生かして、さまざまな分野で活躍しています。

(イ) 就職について（令和5年3月卒業生）

専門的な知識や技術を生かして、事務職をはじめ、多様な職種に就職しています。



【卒業後の進路状況】



【職業種別就職状況】

(ウ) 進学について

商業に関する学科で学んだ知識や技術を更に伸ばすため、経済・経営・商学・法学・情報関係などの大学や短大へ進学する道があります。大学・短大進学者は年々増加する傾向にあります。進学者の多くは、高度な資格取得等を生かした「学校推薦型選抜」や商業の学びを生かした「総合型選抜」により進学しています。また、各種の専門学校等へ進学する生徒も増加しています。

【令和5年3月卒業生の主な進学先】

○国立・公立大学

名古屋市立大学、静岡県立大学、滋賀大学、富山大学

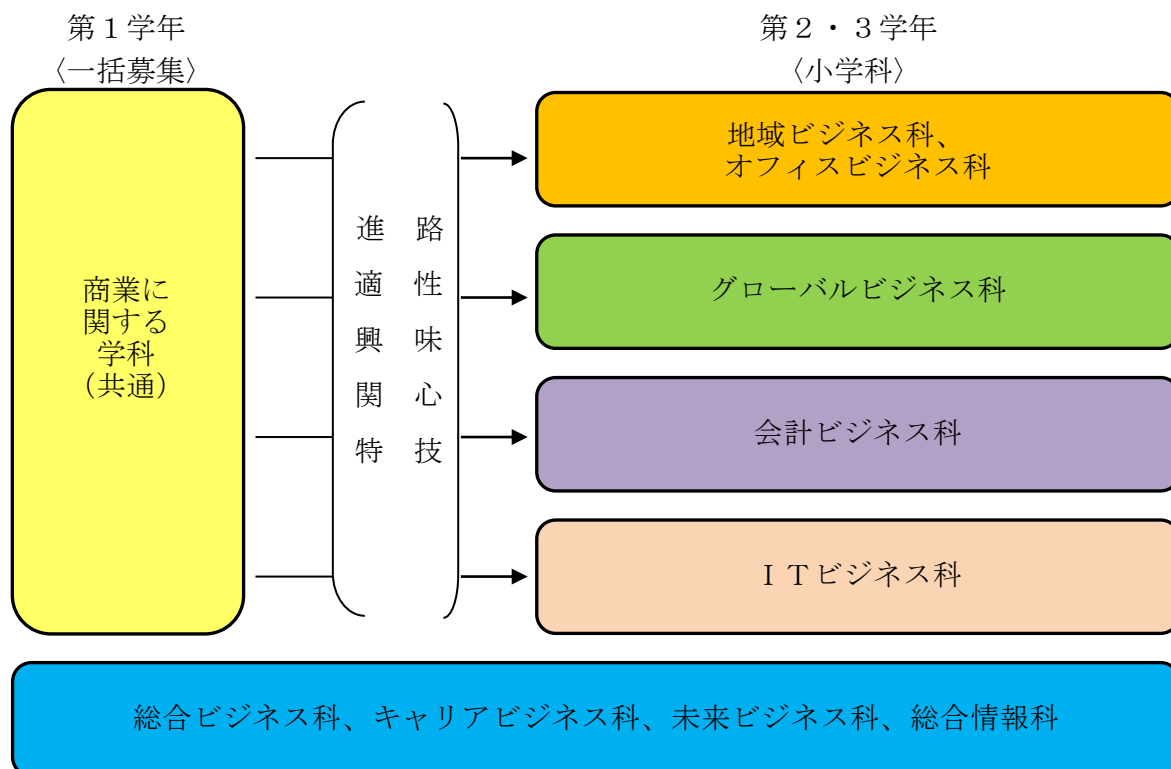
○私立大学

愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、愛知東邦大学、愛知みずほ大学、金城学院大学、至学館大学、椙山女学園大学、大同大学、中京大学、中部大学、東海学園大学、同朋大学、名古屋外国語大学、名古屋学院大学、名古屋芸術大学、名古屋商科大学、南山大学、日本福祉大学、名城大学、関西大学、駒澤大学、立命館大学、中央大学、明治大学、日本体育大学、千葉工業大学 など

県内私立大学（経済・経営学部）の推薦基準（例）

- a. 日商簿記検定2級合格かつ第3学年1学期末までの全体の評定平均値4.0以上
- b. 情報処理推進機構ITパスポート試験合格かつ、第3学年1学期末までの全体の評定平均値4.0以上

エ 商業に関する学科（全日制）の選択



複数の学科がある商業高校（商業科設置校）では、第2学年から各学科に分かれて学習します。

入学後、商業科目の授業や校内ガイダンスで各学科の学習内容を確認し、進路希望や興味・関心に応じて専門学科を選択していきます。

オ 商業に関する学科で学習する内容

商業に関する学科では、総時間数の約3分の1は、専門科目を学習します。

平均的な3年間の授業時間数の内訳は下記のとおりです。

共通科目(約60%)	商業科目(約40%)	ホームルーム	合計
53単位	34単位	3	90単位

○ 商業の4分野と設定科目

分野	設定科目
マーケティング分野	マーケティング、商品開発と流通、観光ビジネス
マネジメント分野	ビジネス・マネジメント、グローバル経済、ビジネス法規
会計分野	簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、管理会計
ビジネス情報分野	情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング、ネットワーク活用、ネットワーク管理
※基礎的・総合的科目 ビジネス基礎、課題研究、総合実践、ビジネス・コミュニケーション	

計20科目

カ 商業の4分野

(ア) マーケティング分野

企業がお客のニーズを満たすために行うさまざまな活動について学びます。

例えば、市場調査のやり方や価格の決め方、広告や販売促進など、顧客満足を実現するために必要な企業の活動について学びます。また、地域の資源を活用した商品の開発や、観光に関する知識や技術についても体験的に学びます。

科目……マーケティング、商品開発と流通、観光ビジネス



(イ) マネジメント分野

企業の経営や企業を取り巻く経済社会の動向、法規について学びます。

例えば、企業で働く人や設備、資金、情報を適切に組み合わせてビジネスを発展させていく経営の手法や、ビジネスの創造、企業の社会的責任などについて学びます。また、経済のグローバル化や日本経済の現状、景気循環などの経済理論の基礎的な内容、さらに、ビジネスを行う上で知っておくべき法規についても学びます。

科目……ビジネス・マネジメント、グローバル経済、
ビジネス法規



(ウ) 会計分野

企業の経営活動を一定のルールで記録する簿記や会計情報の提供の仕方について学びます。

例えば、この分野を学習するときの基礎となる仕訳という作業の方法や経営活動の結果を報告するための書類の作成方法などについて学びます。また、製品をつくるためにかかった費用の計算の仕方や企業の経営を管理するための会計についても学びます。

科目……簿記、財務会計Ⅰ、財務会計Ⅱ、原価計算、
管理会計



(エ) ビジネス情報分野

ビジネスの世界で利用されているソフトウェアの操作や活用方法など、コンピュータや情報通信ネットワークに関する内容を学びます。

例えば、表計算ソフトウェアを使って商店の売上高の推移をグラフで示したり、データベースソフトウェアを使ってたくさんの商品データを目的に応じて管理したりします。また、プログラミングやインターネットを活用したビジネスについても学びます。

科目……情報処理、ソフトウェア活用、プログラミング、
ネットワーク活用、ネットワーク管理



(2) 学科の紹介（一部）

ア 総合ビジネス科

◇ 学科のねらい

商業科目を全般的に幅広く学習し、経営活動に適切に対応するための能力と態度を育てます。

◆ こんな人に適した学科

商業全般について幅広く学習するため、企業の事務職や個人商店の経営などを行いたい人に向いています。



〈科目「総合実践」の実習〉

イ グローバルビジネス科

◇ 学科のねらい

ビジネスに必要な経済の理解や実務的な語学を中心に学び、グローバル社会に適切に対応するための能力と態度を育てます。

◆ こんな人に適した学科

ビジネスに必要な経済を学び、豊かな国際性を身に付けたい人に向いています。



〈語学研修旅行〉

ウ 会計ビジネス科

◇ 学科のねらい

特に簿記会計に関する分野を深く学び、会計に関する活動に適切に対応するための能力と態度を育てます。

◆ こんな人に適した学科

企業などにおける会計部門や会計事務所などで活躍したい人に向いています。



〈財務諸表の作成〉

エ ITビジネス科

◇ 学科のねらい

特にコンピュータの活用技法の分野を深く学び、情報処理に関する活動に適切に対応するための能力と態度を育てます。

◆ こんな人に適した学科

プログラマーなどの専門職を目指す人やコンピュータを活用した分野で活躍したい人に向いています。



〈マルチメディアコンテンツ制作〉

○全学科で共通して取り組む学習内容（一例）

■ 科目「課題研究」の学習

自らの興味・関心に基づいて課題を設定し、専門的な知識・技術の深化・総合化を図ることを目的として、グループ研究または個人研究の形式で楽しく学習を進めることができます。

- ・商店街やデパートなどでの販売実習
- ・ビデオによるコマーシャルの作成
- ・地元企業の調査研究
- ・高度な資格取得 など



〈量販店での販売実習〉



〈生徒の開発した商品〉

■ 社会人講師による授業

産業界の第一線で活躍している方を講師として招き、実社会に即した内容の学習を行います。

- ・ビジネスの基本マナー（ホテル等の企業・商工会議所担当者）
- ・基本情報技術者試験講座（情報処理関連企業・専門学校担当者）
- ・悪徳商法とカードトラブル（消費生活センター・司法書士会）など



〈社会人講話の実施〉

その他にも、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成を目指し、学校と地域が連携したさまざまな取組を行っています。

校外実習（一例）



〈宿泊業での接客体験〉



〈小売業でのインターンシップ〉

地域活性化プロジェクト（一例）



〈着ぐるみによる地域貢献活動〉



〈キッズビジネスタウン〉

(3) 検定・資格の取得

ア 在学中に取得を目指す主な検定・資格

- ◇ビジネス計算実務検定（全商協会）
- ◇簿記実務検定（全商協会）
- ◇ビジネス文書実務検定（全商協会）
- ◇英語検定（全商協会）
- ◇情報処理検定（全商協会）
- ◇商業経済検定（全商協会）
- ◇財務諸表分析検定（全商協会）
- ◇財務会計検定（全商協会）
- ◇管理会計検定（全商協会）
- ◇ビジネスコミュニケーション検定（全商協会）

※全商協会：全国商業高等学校協会

- ◇基本情報技術者試験（情報処理推進機構）
- ◇ITパスポート試験（情報処理推進機構）
- ◇簿記検定（日本商工会議所）
- ◇販売士検定（日本商工会議所）
- ◇珠算能力検定（日本商工会議所）
- ◇ビジネスキーボード検定（日本商工会議所）
- ◇実用英語技能検定（日本英語検定協会）
- ◇秘書検定（実務技能検定協会）



〈合格証書〉



〈授業風景〉

イ 主な検定試験とねらい

検定試験	ねらい
ビジネス計算	商業に関する実務計算処理能力を判定する。
簿記	簿記による記帳・計算処理能力を判定する。
ビジネス文書	文書作成や文書処理の能力を判定する。
英語	英語で聞く、話す、読む、書くといった総合的な力を判定する。
情報処理	プログラミング又はビジネス情報に関する能力を判定する。
商業経済	商業経済に関する知識の理解力を判定する。
販売士	販売に関する知識や接客の総合的な力を判定する。
秘書	一般常識、接遇マナーの総合的な力を判定する。

☆令和4年度愛知県公立商業科生徒の検定・資格取得状況☆

- ・日本商工会議所の簿記検定2級合格者数306名
 - ・実務技能検定協会の秘書検定2級合格者数139名
 - ・情報処理推進機構のITパスポート試験合格者数57名
- ※どれも全国トップクラスの資格取得者数を誇っています。



〈補習での協働学習〉

(4) 特色ある取組

○あいちの産業担い手育成事業「地域協働ビジネススキルアップ事業」（県教育委員会主催）

ア 事業の目的

商業を学ぶ県内の高校生を対象に、地域企業と協働し、現実の経済社会で行われている実際のビジネスを学びの対象とすることにより、高いビジネススキルと起業家精神を身に付けた人材の育成を目指します。

イ プログラムの概要

学校とイオン店舗が連携し、年間を通して担当店舗（地域）の市場調査、マーケティング戦略会議、実店舗販売（既存商品の売場展開）、経費精算までを行い、実際の店舗運営を体験します。

ウ イオン連携店舗と当該校

店舗名	当該校
イオンナゴヤドーム前店	愛知商業高校、春日井泉高校
イオン熱田店	中川青和高校
イオン扶桑店	犬山高校、古知野高校
イオン木曾川店	一宮商業高校、木曾川高校
イオンスタイル東浦店	半田商業高校
イオンスタイル常滑店	東海樟風高校
イオン岡崎南店	岡崎商業高校
イオン豊橋南店	豊橋商業高校

※ 各学校の3年生 10名程度が参加

エ カリキュラム

4月	協力企業の概要や商品についての講座を実施
5月	マーケティングの基礎を学習／市場調査や商品の考案を実施
6月	市場調査の結果を基にマーケティング戦略会議の実施
7月	マーケティングの基礎を学習／商品開発のプレゼンを実施
8月	協力店舗において販売実習
9月	広告・マーケティングの基礎を学習
10月	これまでの学習や実習を基に、新商品販売に向け売場構成会議を実施
11月	売場構成のプレゼンを実施
12月	商品販売に向け、販促物の準備や協力店舗との打ち合わせを実施
1月	商品陳列・売場づくり実習
2月	協力企業への報告会を実施



＜商品考案やプレゼンテーションなどの授業風景＞

○ビジネス探究プログラム（県教育委員会主催）

ア 事業の目的

地元企業が求める「ビジネス現場で主体的に行動できる人材」の育成を図るため、ケースメソッドやプロジェクト型学習（PBL）を柱とした基本的なカリキュラムを令和5年度からの3年間で県立全日制商業科設置校15校に導入していく予定です。

イ プログラムの概要

1年次「ビジネス探究Ⅰ」（科目「ビジネス基礎」で実施）

企業経営の事例を題材にビジネスの基礎知識を身に付ける。

2年次「ビジネス探究Ⅱ」（各学校の実状に合わせて商業科目の中で実施）

起業を擬似的に体験する課題解決型学習を通して、ビジネスのアイデアを生み出す力を身に付ける。

3年次「ビジネス探究Ⅲ」（科目「課題研究」で実施予定）

ビジネスのアイデアを具体的な企画や事業プランにしていく学習に取り組み、ビジネスの実践力を身に付ける。

(5)「商業」を知るWebページの開設（県教育委員会事業）

ア サイト名

だから商業高校@あいち

イ 掲載コンテンツ（一部抜粋）

テーマ	コンテンツ
商業高校ってどんなところ？	・卒業後の進路、学科の紹介、各学校の制服、部活動や学校行事に関する紹介
商業高校で学べること	・商業高校を紹介する動画「3分でわかる！あいちの商業高校なら なりたい自分になれるヒミツ」を掲載 ・生徒が自らビジネスプランについて考えて提案する授業を紹介 ・企業や各種団体等とのコラボレーションの具体例を掲載
商業ライフを体験！	・生徒の目線で、商業高校を疑似体験することができる動画「なりたい自分がみつかる！～商業高校体験MOVIE～」等で商業高校での生活を紹介
先輩たちのホンネ	・商業高校で学んだ先輩の体験談や保護者の意見を紹介
愛知の商業高校	・商業科のある公立高校の一覧

エ URL

<https://dakara-aichi.jp/>

